

松本に地ビール大集合

県内初 9月にフェス

県内のビールメーカーで醸造される「クラフトビール」(地ビール)を一堂に集めた催し「ビアフェス信州2014 クラフトビールフェスティバル in 松本」が9月19、23日に松本市内で初めて開かれる。平成6年の酒税法改正に伴う「地ビール」誕生から20年となるのを機に、食文化の発信や観光振興を図ろうと、松本地方の飲食店や酒販店の経営者らが計画した。(小岩井貴之)

日本地ビール協会(本部・兵庫県)によると「クラフトビール」は、小規模な醸造所で職人が手掛けた高品質ビールだ。

かつては「地ビール」として全国でブームとなったが、近年はメーカーが淘汰される一方で、技術

クラフトビール
フェスティバル
開催に向けて
話し合う実行委員



の蓄積により高品質な商品が生まれている。イベントでは、主に県内のビールメーカーの出店を募り、「信州サモ

のメーカーの出店を募る本格的なクラフトビールの催しは「県内初」という。松本城公園を会場に想定しており、松本城天守と北アルプスを望みながら、信州のビールと料理を楽しむ計画だ。開催時間を昼前から夕方までにし、夜は参加者が市街地へ繰り出す効果も狙う。

20日夜に市内で実行委員会の会議があり、委員7人が集まった。5月から出店者の募集やPRを本格化し、7月から前売り券の販売を行う方針を決めた。実行委員長に就いた青山織人さんは『松本らしさ』を発信し、日本一のイベントに育てたい」と話している。

問い合わせは事務局のオールドロック(☎0263・38・0069)へ。